

【平成 25 年度事業計画】

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

[公 1]

住民主体のまちづくりの実現と、歴史都市・京都の美しい景観、良好な環境を具現化し、京都の都市としての品格を高めるとともに都市活力の向上に寄与することを目的とする。

1 各種情報の収集、発信及び啓発

(1) 広報活動事業

予算額 2,100 千円 (平成 24 年度予算額 2,100 千円)

※全額自主財源

ア ニュースレター「京まち工房」の発行

予算額 1,800 千円 (平成 24 年度予算額 1,800 千円)

景観・まちづくりに関する各種情報及び地域、関係団体等の活動状況等を掲載した広報紙を作成し配布する。

(参考) 配布先：賛助会員、全国のまちづくり関連機関等

発行：年 4 回 (6 月、9 月、12 月、3 月)

発行部数：各号 3,500 部

イ ラジオの活用による情報発信活動

予算額 300 千円 (平成 24 年度予算額 300 千円)

センターの活動や取り組みに関する情報を、より広く伝えることを目的として、NPO 京都コミュニティ放送が実施する京都三条ラジオカフェの番組「まちづくりチョビット推進室」において情報を発信する。

ウ 各種啓発冊子、技術資料等の発行等

(ア) 冊子等の販売

- | | |
|----------------------------------|-------------------|
| ① 京のまちづくり史 | (株式会社昭和堂) |
| ② まちづくりコーディネーター | (株式会社学芸出版社) |
| ③ わたしの家物語 | (京都市景観・まちづくりセンター) |
| ④ なるほど!「京町家の改修」 | (京都市景観・まちづくりセンター) |
| ⑤ 京町家の再生 | (京都市景観・まちづくりセンター) |
| ⑥ Kyoto Machiya Restaurant Guide | (Judith Clancy) |

(イ) 京町家キット等の販売

京町家等の組み立て式キット 他

(2) 景観・まちづくり大学等

予算額 4,630 千円（平成 24 年度予算額 4,710 千円）

ア セミナー・研究会の実施 <景観・まちづくり大学>

予算額 3,880 千円（平成 24 年度予算額 4,210 千円）

※全額京都市委託料

- (ア) 京のまちづくり史セミナー
一般市民を対象に、京都のまちづくりの歴史を学びこれからのまちづくりを考える。
- (イ) まちづくりセミナー
まちづくりに関心の高い市民、専門家を対象に、まちづくりに関する種々の情報を発信し、広くまちづくりへの参画意識の向上を図る。
- (ウ) 京町家再生セミナー
 - a 京町家再生セミナー
主に京町家の所有者、居住者を対象に、京町家の維持、管理等に関する基本的な課題の解決を図る。
 - b 京町家住まい方ラボ
京町家について、見て、聞いて、体験することで、理解を深めることを図る。
- (エ) こどもまちづくりセミナー
子どもたちが、自らの地域を知り、魅力と誇りを感じ、各世代との交流を通して景観・まちづくりへの意識の醸成を図る。
- (オ) 学生まちづくりセミナー
学生を対象に、将来の景観・まちづくりを担う人材育成と、次代を担う若者の視点、感性をまちづくりに活かす。
- (カ) 研究会等の開催
 - a 近代まちづくり史の編纂
学識者や若手研究者等による研究会や調査を実施し、主として 20 世紀以降の市街地形成の変遷と郊外住宅の変遷を取りまとめ、近代まちづくり史を編纂する。
 - b まちづくり専門家等を対象とする研究会
行政、学識者、建築、土木等のまちづくり専門家や建築士等を対象に、まちづくりに関する様々な専門家との共同による調査・研究及びスキルアップを図る。

イ 景観・まちづくりシンポジウムの開催

予算額 700 千円（平成 24 年度予算額 500 千円）

※全額京都市補助金

地域まちづくり活動や京町家の保全・再生の活性化を目指し、種々の課題とその解決方策を見出すための産・官・学・民の協働によるシンポジウムを開催する。

2 市民等の活動に対する総合的支援

(1) 地域活動支援事業

ア 景観・まちづくり相談業務

予算額 345 千円（平成 24 年度予算額 650 千円）

※全額京都市補助金

センター職員による、地域が自主的に取り組む景観・まちづくり活動に関する相談を実施する。

イ まちづくり活動への助成

予算額 500 千円（平成 24 年度予算額 850 千円）

※全額京都市補助金

地区計画や建築協定などの法制度等を活用し、景観・まちづくりに継続的に取り組む地域に対して、活動費を助成する。

ウ まちづくり専門家の派遣

予算額 1,650 千円（平成 24 年度予算額 1,200 千円）

※全額京都市補助金

景観・まちづくり活動に取り組む地域に、相談内容に応じて、まちづくり専門家を派遣する。必要に応じて、一定期間継続して派遣する。

(2) 京町家再生支援事業

予算額 2,050 千円（平成 24 年度予算額 2,060 千円）

※全額京都市補助金

ア 京町家なんでも相談業務

京町家の保全、再生、活用を図るため、各種の専門家、団体等の協力の下、「京町家なんでも相談」を実施。

(ア) 一般相談

センター職員が一次対応として、相談内容に応じて専門相談や団体紹介を行う。

(イ) 専門相談

大工、建築士、不動産屋、司法書士等の実務者による専門相談を行う。

(ウ) 京町家出前セミナー、出前相談会の実施

地域の集会所などをお借りし、京町家に関する相談を受け付ける出前相談や京町家の保全・再生・活用に向けた出前セミナーを実施し、相談の掘起しや京町家の保全・再生・活用のための普及活動を行う。

(エ) 京町家の所有者・居住者等交流会の運営

京町家の所有者、居住者等が相互に情報交換し、連携することによって、その維持、管理等に対する共通課題の解決等を見出すことなどを目的とする交流会を開催する。

イ 京町家データベースの管理（新規事業）

これまで、年度毎、相談毎に集積してきた京町家の相談履歴を、物件毎に一元的に管理することを目的に、京町家データベースを運営する。

ウ 専門相談員研修会の実施

専門相談員の情報交流とスキルアップを図るための研修会を実施する。

3 各種団体等との交流及び協働活動

(1) 専門家等交流事業

ア まちづくり専門家交流会

予算額 50 千円

※全額京都市補助金

各分野の専門家との共同による交流会を開催し、相互のスキルアップを図る。

イ 京町家の保全、再生を支援するネットワークの構築

予算額 200 千円（平成 24 年度予算額 350 千円）

※全額京都市補助金

京町家等の暮らしの価値の情報発信の促進を目的としたネットワークづくりのための検討会等を開催する。また、京町家保全・再生・活用のための取組みについて、情報交換会を開催する。

＊ 3 回程度実施予定

＊ 対象団体

京都府建築工業協同組合、京都府建築士会、京都府宅地建物取引業協会、関西木造住文化研究会、京町家再生研究会、古材文化の会、町家倶楽部ネットワーク 等

ウ 各種団体との交流、連携

【センターが入会等している団体】

(社)日本建築学会、(公社)日本都市計画学会、(社)都市住宅学会、(社)日本マンション学会

(2) 海外連携プロジェクト事業

予算額 1,300 千円 (平成 24 年度予算額 3,250 千円)

ア 京町家アーティスト・イン・レジデンス事業

予算額 1,100 千円 (平成 24 年度予算額 1,850 千円)

※全額自主財源 内 900 千円 (協賛金)

京町家を滞在先としてオランダからのアーティストを受け入れ、京町家の活用の促進及び所有者や地域との交流を支援するアーティスト・イン・レジデンスを実施する。

また、アーティスト・イン・レジデンスを活かした地域まちづくりの可能性について検討を行う。

平成 23 年度及び 24 年度には、アムステルダムを拠点とする日本文化センターとの共催により、オランダから累計 7 名のアーティストを受け入れた。

イ WMF との連携による支援

予算額 200 千円 (平成 24 年度予算額 1,400 千円)

※全額自主財源

WMF との連携の継続による、京町家の再生、活用に向けた国際的事業の検討を行う。

(参考) 京町家再生プロジェクト 第 1 期 釜座町町家

第 2 期 風雷房

第 2 期の修復町家である「風雷房」は、平成 24 年 5 月に景観重要建造物、歴史的風致形成建造物に指定されており、町家美術館として一般に公開されている。

また、平成 23 年 10 月には、ワールド・モニュメント・ウォッチに「京町家群」が前回に引き続き 2 度目の選定を受けた。

4 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発

(1) 歴史的建造物の再生、活用助成関連事業

ア 京町家まちづくりファンド

予算額 2,165 千円 (平成 24 年度予算額 2,635 千円)

※全額京都市補助金

(7) 京町家まちづくりファンド委員会運営事務費

予算額 770 千円 (平成 24 年度予算額 770 千円)

※全額京都市補助金

京町家まちづくりファンドの公正かつ効果的な管理運営を行うため、諮問機関としての京町家まちづくり委員会を開催する。また、改修助成事業を実施するために、チラシの作成、プレートの作成等を行う。

(イ) 京町家まちづくりファンドの普及啓発事業

予算額 1,395 千円 (平成 24 年度予算額 1,865 千円)

※全額京都市補助金

京町家まちづくりファンドの普及啓発活動として次の事業を行う。

- ① 改修助成事業の成果報告書の作成
- ② 事業報告会の開催
- ③ 改修助成を受けて頂いた方の活動を繋ぐ座談会の開催
- ④ 寄附付き商品の提供企業等の皆様との共催による普及啓発イベント等の開催
- ⑤ 基金名称及びロゴマークの保全のための商標登録

合わせて、京町家現物の寄附の受入れに向けて、管理型信託による京町家の保全・再生・活用についての調査研究

(2) 歴史的建造物の保全、再生に関する支援事業

ア 京町家カルテの作成

予算額 2,975 千円 (平成 24 年度予算額 2,100 千円)

※全額自主財源 (カルテ作成手数料収入)

(7) 京町家カルテの作成

京町家が文化的な資産である理解を広め、京町家の適切な維持・管理を促すことを目的に、専門家に依頼して京町家カルテを作成する。

(イ) 京町家カルテ委員会 ※新規事業

京町家カルテの内容の審査し、適正に運用することを目的に、理事長の諮問機関として、学識者及び実務者で構成する京町家カルテ委員会を設置する。

イ 文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業

予算額 4,800 千円 (平成 24 年度予算額 6,852 千円)

※全額文化庁補助金

京町家を守る所有者・居住者を支え、京町家の保全・再生をサポートすることを目的に、景観重要建造物に値する京町家に対し、往訪事業を行う。また、了解が得られた京町家には、文化的な価値を明らかにするための調査を行い、景観重要建造物や国有形文化財への登録を支援し、京町家の保全・再生をサポートする。

5 公共人材育成に関する教育及び研修

人材育成関連事業

予算額 300 千円 (平成 24 年度予算額 300 千円)

※全額自主財源

まちづくりコーディネーターの能力向上研修を実施するとともに、公共的感性を持った人材を育成するため、当センターを実務経験の場として提供し、連携大学からインターンシップ受入れを実施する。

6 景観整備機構に関わる関連業務

文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業（再掲）

景観法に基づく景観整備機構として、景観重要建造物候補に値すると判断した京町家に対し、往訪事業を実施するほか、京町家なんでも相談及び京町家まちづくりファンドにおいて、景観重要建造物への指定を推進する。

7 その他京都市景観・まちづくりセンターの管理運営事業

京都市景観・まちづくりセンターの管理運営事業

予算額 16,520 千円 (平成 24 年度予算額 18,840 千円)

※全額京都市委託料

平成 25 年度から平成 28 年度まで、指定管理者として京都市景観・まちづくりセンターを管理

ア 管理施設の運営

- ・京のまちかど展示コーナー
- ・図書コーナー
- ・ワークショップルーム
- ・まちづくり交流サロン など

イ 施設管理に伴う情報発信

- ・京町家情報コーナーの運営
- ・ホームページ、メールマガジン等を活用したセンターの活動及び情報等の発信

[法人運営]

[法人運営]

予算額 6,977 千円 (平成 24 年度予算額 4,330 千円)

※京都市補助金 6,727 千円 自主財源 250 千円

1 管理事務

財産の管理、経理事務などの経費

2 賛助会員管理事務

(1) センター賛助会員管理等の事務

(2) 地域ホームページの作成支援

団体賛助会員かつインターネットを活用した広報活動を目指す地域に対して、ホームページの立ち上げと管理（サーバーの提供）を支援する。 支援地域 6 地区を予定

3 団体ネットワーク事務

センターの運営上関係の深い団体との交流事務

京都商工会議所、全国公益法人協会等に入会し、相互に情報交換等を行う。

[公 2]

京町家まちづくりファンド事業

H25 予算額 18,000 千円 (平成 24 年度予算額 14,060 千円)

<支出内訳>

・平成 25 年度助成金交付予定分	15,000 千円
・平成 24 年度からの繰越分 (2 件)	2,990 千円
・振込手数料等	10 千円
合 計	18,000 千円

【平成 25 年度事業方針】

平成 25 年度京町家まちづくりファンド改修助成事業は、京町家まちづくりファンド基本方針に基づき、引き続き、京町家の再生・修復及び通り景観の修景に対し、公募を行い、助成を行う。

募集件数 10 件程度

予算規模 15,000 千円

合わせて、寄附付き商品の拡充に向け、シンポジウムなどの企画を実施し、基金の強化を図るとともに、寄附金額等の見直しを行い、寄附しやすい環境づくりを行う。

京町家再生プロジェクト事業

予算額 3,232 千円 (前年度当初予算額 5,964 千円)

【平成 25 年度事業計画】

地域社会で守るべき文化遺産を保護し後世に継承すべく、世界の歴史的建造物など文化遺産の保護、啓蒙活動を行っているワールド・モニュメント財団（WMF）から支援を受け、地域と一体となって京町家の保全・再生を図るとともに、その取組と成果を共有し、町並みの保存・再生のモデルとするための活動を行っている。

これまでに、特定非営利活動法人京町家再生研究会とともに、平成 22 年度の第Ⅰ期プロジェクトである釜座町町家の修復に引き続き、平成 24 年度は第Ⅱ期プロジェクトとして大型町家の修復を行うとともに、京町家の普及啓発のためのシンポジウムを東京にて行った。

平成 25 年度は、第Ⅱ期プロジェクトの一環として、以下の事業に取り組むこととしている。

- ・大型町家（現・木田安彦美術館）修復記録の作成
- ・大型町家の適切な継承に係るアクションプランの提案
- ・普及、啓発の取組（平成 24 年度から継続）
- ・ブックレット（京町家暮らしの作法や知恵などを紹介）

（参 考）

WMFは、隔年で、緊急的に修復・保存などの措置が求められる文化遺産を「ワールド・モニュメント・ウォッチ」としてリストにまとめ、世界に向けて支援を呼び掛けているが、京都の伝統的木造都市住宅である「京町家群」は、平成 22 年の 2010 年版に引き続き、平成 24 年にも 2012 年版として二度目の選定を受けている。

これまでの実施分

<第Ⅰ期プロジェクト>

- ・釜座町町家の修復（工事完成：平成 22 年 11 月）
- ・町家（ちょういえ）修復記録の作成
- ・「京町家の手帖 改修と住まい方の手引き」の作成
- ・京町家の保全再生に係るアクションプランの提案

<第Ⅱ期プロジェクト>

- ・大型町家（現・木田安彦美術館）の修復（工事完成：平成 24 年 5 月）
※修復後は町家美術館として一般に公開されている。